

なおみ

703 ニュース

自民党 | Lib Dems
Liberal Democratic Party of JAPAN

西東京市議会議員

保谷なおみ

市議会報告 vol.39

「子どもがど真ん中」のまち 西東京

「子どもがど真ん中」のまち 西東京と聞いて、どういったことを想像されますでしょうか。「子どもがど真ん中」というのは、池澤隆史市長のまちづくりのモットーであります。2022年度も、「子どもがど真ん中」ということで、多くの子ども施策で前進がありました。

こどもの発達センターひいらぎは、どう変わる？

今年度より、こどもの発達センターひいらぎは、児童発達支援センターひらぎと名称変更しました。

名称変更だけでなく、あらたにアウトリーチ的な取り組みを強化します。「発達障害かな」と悩まれるお子さんとそのご家族の相談に乗る、保育園や幼稚園などに通園する、支援を必要とするお子さんに、施設と連携しながら、支援をこおこなう、など、アウトリーチ的な取り組みを強化します。

田無総合福祉センターで、児童発達支援の新事業開始！

あわせて、田無総合福祉センターを改修し、その中で児童発達支援等障害児通所事業を行う民間事業者を募集します。公募に際しては、西東京市で必要としている支援事業を明確にすることで、市民ニーズに応えていきたいという市長答弁が、3月定例会中に行われた代表質問でありました。

もくじ

- ・「子どもがど真ん中」のまち 西東京
- ・幼稚園入園料支援、実施へ
- ・「書かない窓口」北見市を目指せ！
- ・近況報告～「ロシア連邦のウクライナへの軍事侵攻を非難する決議」ほか

幼稚園入園料支援、実施へ

西東京市市内の私立幼稚園。いずれも、保育園に比較して、広い園庭を持ち、乳幼児の生育環境としては、伸び伸びと外遊びができる点で、たいへん優れています。幼稚園を、かけがえのない子育てインフラと考え、近年市内に急増した満3歳以下のお子さまを預かる小規模保育事業所と連携させることで、待機児童対策とすることは、合理的と考えます。

令和5年4月に私立幼稚園等に入園する際に必要となる費用について、その一部を補助する制度を開始し、小規模保育事業所から幼稚園の入園をする場合の負担軽減をします。



昭和37（1962）年保谷市生れ。碧山小、ひばりが丘中学校、お茶の水女子大学附属高校、東京大学文学部卒。元学習塾講師。保護司。

平成14年、西東京市議会議員選挙初当選。第13代議長。

後援会住所 中町4-2-18

Tel.042-453-1104 fax 042-422-0104



ホームページ



ライン

Instagram



「書かない窓口」 北見市を目指せ！

西東京市では、現在、転出・転入のワンストップ化を進めています。

マイナンバーカードを使って届け出をすると、転出届の内容が印字された転入届を受け取ることができ、これを転入先にマイナンバーカードとともに持参すれば、手続きが終わるそうです。来年度より実施されます。

記載台をなくした北見市

しかし、先進自治体である北海道北見市では、さらに進んだワンストップ化を実現しています。北京オリンピックで銅メダルを獲得したカーリング女子ロコ・ソラーレの地元・北見市では、2009年から、画期的なワンストップ化、「書かない窓口」を実施しています。

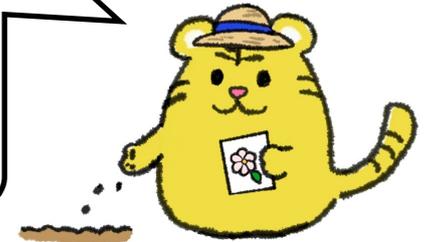
証明書の請求や住民異動の届け出などをするために市役所に来ると、必ずと言ってよいほど、書かされるさまざまな書類。複数あれば、住所、氏名などくらいは1回書くだけで済ませたいと、誰もが1度は考えたことがあるはず。その「できたらな」を、北見市は実現しました。

北見市では、市役所の中に記載台はありません。その代わりに、窓口の職員が来庁者から本人確認書類の提示を受けるなどして、その情報を元にシステムで対象者を検索するとともに必要な証明書や届け出内容を聞き取りし、申請書や届出書をパソコン上で一緒に作成します。そして、このやり方のほうが、事務時間削減につながっているのだそうです。ぜひ、西東京市でも、導入に向けて、一層の努力を！

どうなる西東京2022

2022年度、西東京市で何がどう変わるか、
もっと詳しく知りたいかたは→

または、<https://houya703.net>で検索



近況報告



「ロシア連邦のウクライナへの軍事侵攻を非難する決議」を、3月3日の本会議で、全員賛成で可決しました。また、西東京市議会から10万円、国連UNHCR協会へ寄付いたしました。3月20日には、田無駅で自民党同僚市議会議員や松本洋平衆議院議員、浜中のりかた都議会議員とともに、ウクライナ緊急人道支援のための募金を行い、20万円を超える浄財を寄付していただきました。こちらは、日本赤十字社を通じて、ウクライナ人道支援に役立てていただきました。連日報道されるウクライナの惨状を見るたび、心が引き裂かれるような思いがします。ウクライナに幸あれ！



3月8日の国際女性デーを記念して、いこいーなどの名誉あるツーショット